

南丹市地域公共交通会議  
議 事 録

南丹市地域公共交通会議事務局  
(南丹市地域振興部地域振興課)

南丹市地域公共交通会議（令和2年11月20日開催）議事録

1. 招集年月日 令和2年10月27日（火）
2. 開催年月日 令和2年11月20日（金）午後1時30分～午後2時45分
3. 開催場所 南丹市役所2号庁舎3階301会議室
4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
  - (1) 委員の総数 22名
  - (2) 出席者数 19名
  - (3) 出席した委員の氏名 別紙出欠状況のとおり
5. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

司会	<p>本日は大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただいまより南丹市地域公共交通会議を開催いたします。</p> <p>本日司会進行をさせていただく地域振興部長の清水と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>それでは開会にあたりまして、南丹市地域公共交通会議 松尾会長からご挨拶を申し上げます。</p>
会長	<p>（開会あいさつ）</p> <p>皆さんこんにちは。本日は南丹市地域公共交通会議を開催しましたところ、お集まりいただきましてありがとうございます。公共交通の取組みは市街地と人が点在して暮らしている地域で異なります。高齢者の事故が多発していることから免許の返納等も進んでおりますが、通院や買い物が困難な状況では公共交通機関が整っていない過疎地域では質が異なると考えております。</p> <p>同じ南丹市でもデマンドバスの運行日が週5日、毎日運行の地域もございます。しかし、バス停まで1キロほど歩かなければデマンドバスを利用できないという所もございます。一方では大型バスが空で走っているなど市民の皆様から不満の声をお聞きしております。デマンドバスの運行形態は事業者との関係もあり地域格差がある上に多額の財政負担となっております。高齢者が使いやすい公共交通は閉じこもり対策と介護予防にも繋がりますが、今日までアンケート調査やバスの交通活性化事業を取組み報告書も作成</p>

	<p>しておりますけれども十分な活用が出来ておりません。</p> <p>今年度の事業として日吉地域で行っているモデル事業は後ほど報告いたしますが、利便性の向上と経費の削減の視点で計画を策定しております。このような取組みを事務局では精力的に行っていただいておりますが、公共交通は暮らしやすい街づくりにおいて欠かすことの出来ない重要な課題となりますので許認可の必要な会議にとどまらず、公共交通の改善に繋がるご意見を賜りますようお願い申し上げまして冒頭のご挨拶に代えさせていただきます。本日はご苦勞様でした。</p>
司会	<p>ありがとうございました。本日の会議の出席委員数でございますが、南丹市地域公共交通会議の委員数 22 名に対して、出席委員数は 18 名でございます。よって南丹市地域公共交通会議条例第 6 条第 2 項により本会議が成立していることを報告いたします。</p> <p>なお本日、京都府タクシー協会副会長 川本委員の代理として宗口次長様に、京阪京都交通株式会社代表取締役社長 阪本委員様の代理として町田課長様にご出席いただいております。</p> <p>また南丹市女性会監事 松本委員様、南丹市 P T A 連絡協議会 寺尾委員様、南丹市老人クラブ連合会副会長 佐野委員様から欠席の連絡を頂いております。</p> <p>それでは条例第 6 条第 1 項の規定によりまして、会長に議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>まず初めに「京丹波町営バス丹波日吉線の乗降制限について」を協議いたします。事務局に説明を求めます。</p>
事務局	<p>京丹波町営バスの丹波日吉線の乗降制限について説明をさせていただきます。資料 1 に丹波日吉線の時刻表を添付しております。</p> <p>京丹波町の味夢の里や丹波マーケスと日吉駅を結ぶ丹波日吉線が運行されることにつきましては、6 月に開催しました本地域公共交通会議におきましてご審議の上承認いただいたところです。本年 10 月 1 日から運行が開始されておりますが、南丹市営バスと京丹町営バスの料金について課題があることから日吉駅から胡麻駅間の乗り降りに制限があることを説明させていただきました。</p> <p>再度の確認となりますが、具体的に言いますと京丹波町営バスの料金は日吉駅から明治国際医療大学までが 100 円となっており、南丹市営バスは割引バスを持っておられる場合にはこの区間が 150 円となっております。</p> <p>このように南丹市よりも京丹波町の料金の方が安いという事で京丹波町営バスとの競争を避けるために、京丹波町から日吉町に来るバスでは胡麻駅から日吉駅間</p>

	<p>は降車のみ、また日吉駅から京丹波町に行くバスでは日吉駅から胡麻駅間は乗車のみ出来ることになっています。</p> <p>こうした乗り降りの制限があることについては利用される方に分かりづらく、使いづらいものでありますので、この制限を無くしていけるように京丹波町と調整を図ってまいりました。</p> <p>その結果、京丹波町営バスにおかれては来年4月から料金改定を行うこととして12月議会での条例改正に向けて準備を進めておられます。料金につきましては京丹波町の全路線において200円で統一するという計画と聞いております。</p> <p>南丹市としましては料金の課題について整理できる見通しが出来たことから、乗り降りの分かりづらさを解消し利便性を高めていくために、これまで設けておりました日吉駅から胡麻駅間の乗り降りの制限を撤廃したいと考えております。なお、撤廃の時期につきましては、本地域公共交通会議においてご承認を頂きましたら、京丹波町との協議によりますが出来るだけ早い時期で12月1日から変更していきたいと考えております。</p> <p>以上、ご審議を頂きますようよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ただいま事務局が説明しましたことにつきまして、何かご質問・ご意見はございませんか。</p> <p>特にご意見が無いようでしたら、協議内容について表決をお願いいたします。お諮りいたします。</p> <p>「京丹波町営バス丹波日吉線の乗降制限について」は、協議案のとおり合意することに異議ございませんか。</p>
	(異議なしの声)
会長	<p>ありがとうございました。異議なしと認めます。</p> <p>よって、「京丹波町営バス丹波日吉線の乗降制限について」は合意されました。それでは次に、「日吉町地域の交通体系の見直しについて」の協議になります。事務局に説明を求めます。</p>
事務局	<p>【資料2】になります。日吉町地域の交通体系の見直しについて説明をさせていただきます。</p> <p>日吉町地域の市営バスの路線については中型バスが運行しておりまして、集落の内部まで運行するようきめ細かな運行体系ではなく、また既存のデマンドバスも予約の締め切りが前日となっております。自ら移動手段を持たず通院や買い物が困難な高齢者が増加してくる中で、より利用しやすい「高齢者が安心して暮らせる交通手段」となるような交通システムを作っていけないかということで事業を進めて</p>

います。

地域のニーズに応える交通体系としまして当日の予約が可能なデマンド型の交通サービスでバス停だけでなく民家近くで乗り降りできるドア to ドアによる運行というような交通システムを目指していくために、来年の年明けには実証実験が実施できるように地元のひよし農の郷づくり協議会の方で計画をされています。南丹市におきましても地元と一緒に連携した体制で取り組んでいきたいと考えています。

前回の地域公共交通会議におきましては予約型のドア to ドアによる新たな交通サービスの導入ということで大まかな事業の概要をお知らせさせていただきました。今回は次年度からの実施を目指す計画の内容と、それに向けた実証実験を行うことにつきましてご審議を頂ければと考えております。

以下資料に基づいて説明させていただきます。

1 ページ目、日吉地区における既存のバスの現状ということで市営バスやデマンドバスの利用状況を紹介いたしますと、日吉町地域における市営バスの利用者数は毎年減少傾向となっていて、人口の減少・定期券利用の学生の減少が考えられますが、2009年度（10年前）からしますと約50%の乗車人数減となっています。

バス停の利用を見ますと、駅・病院・診療所の利用が中心で朝早い時間やお昼前の時間の利用が多くなっています。

デマンドバスについては年ごとに利用者は増加傾向にありますが、乗車人員数自体が多いとは言えない状況です。中世木線では月にしますと20人程度の利用となっています。

住民の皆さんの利用実態と公共交通に関する改善要望などの意向を調査するため、ひよし農の郷づくり協議会でアンケート調査を実施頂きました。その結果が2ページから3ページとなっています。公共交通を利用される方は買い物や通院のために利用される方が多くあります。また市営バスを利用したことが無い方が6割ほどおられて、利用しない理由としてはバスの本数が少ないことや希望する時間に合っていないこと、バス停が遠いことなどが主な理由となっています。

デマンドバスについては9割の方が利用したことがないと答われています。

市営バスやデマンドバスがどうなったら利用が増えるかということで3ページ目になりますが、バスの便数や走る時間、バス停までが遠い事などが改善されれば利用する。デマンドバスでは毎日の運行と当日の予約が出来るようになれば利用しても良いと多くの方が答われています。

次に日吉地区の公共交通に関する課題と対応方針ですが、バスの利用状況や先ほどのアンケートから見えてくる課題とそれに対して考えられる対応を3項目挙げ

ています。

まず1つ目の運行ルート最適化です。どこのバス停での乗り降りが多いかとなりますと駅や病院・診療所などが中心となり、その他のバス停の利用が少ない状況です。また、目的とする場所に行くまでに時間が掛かってしまうことや乗り継ぎをしないと行けない事など、限られた便数で広い地域をカバーしていることからニーズに合わせた運行が出来ていないということがあります。この事については駅や病院・診療所などを主要な停留所として基点とし、その他の場所はフリー乗車できる区域を設定して利用に合わせたルートとしていく事が考えられます。

2つ目は運行頻度と時間帯の見直しです。便数を増やすことや今よりも早い時間や遅い時間での運行、病院や診療所の通院に合わせた時間での運行が求められています。こうした利用ニーズを踏まえて通院時間などにも配慮した時間帯での運行が必要になっています。

3つ目は乗降場所の改善と充実です。自宅からバス停までが遠いことがバスを利用しない理由として挙げられています。これにつきましてはフリー乗車区間を設けて自宅から歩いて行ける範囲での乗降場所となるように改善を図っていきたいと考えております。

続きまして5ページになります。利用状況やアンケートを踏まえた課題から検討し、今後の利用促進に向けた改善計画になります。

観光需要も見込んだ定時運行の路線バス、主要乗降場所に停車する区間と予約に応じて迂回するフリー区間を組み合わせた予約時のみ運行するデマンド型バスに改善していくこととなります。大きくは主要な地点を繋ぐ幹線については中型バス等を利用して市営バスが運行することとし、その他の部分は集落から駅や病院へ繋ぐ利便性の高いデマンドバスを走らせるというものになります。

もう少し詳しく説明しますと、美山町地域から日吉駅までは市営バスの美山園部線となっておりまして、通勤や通学での利用、市外からの来訪者の利用も多い路線であり、市営の路線バスでの運行を継続していきます。また、その他の路線においても朝夕の通勤・通学に関わる路線は同様に市営バスを継続して運行していくこととします。

また、集落内を走るデマンドバスの部分についてですが、10人乗り程度の車両で集落内を効率的に回れるようにするために日吉町全体をいくつかのエリアに分けて運行します。エリアについては胡麻畑郷線・胡麻エリア線・志和賀保野田線・五ヶ荘線の田原エリアと四ツ谷佐々江エリア・世木エリア線としまして、それぞれのエリアから主要な駅や病院に行けるようにしていきます。

この計画の内容に関しまして、地域の皆さんとのワークショップを開催してご意

見をお聞きしています。6ページに主なご意見を記載しておりますが、こういった時間に運行するのが良いか、毎日の運行が良いのか、計画に合わせてエリア別に協議をさせていただいています。

いくつかのご意見を紹介しますと、運行時間では病院が開く時間に合わせた便が良いとの意見が多く、JRとの接続や病院・買い物を考えた時間での運行が求められています。また夜は17時くらいまでの運行が良いとのこと。運行日としましては土日の運行を希望される方もおられますが、平日の運行が良いとのこと。その他では利用料金は300円までで回数券が使えると良いとのことのご意見も聞かれました。

次に7ページから12ページまでの資料になりますが、こちらはワークショップで協議をいただいた時の資料でありましてエリア毎に運行のイメージとして提示したものです。7ページに胡麻エリア線の資料がありますのでご覧ください。胡麻駅から広野方面に行って国際医療大学病院に向かうルートになります。胡麻駅を出発して途中の上胡麻、広野、新町を主な停留所に設定します。この停留所以外はフリー区間としまして予約が入れば近くまで迎えに行くという事になります。

運行ダイヤの例としまして出発時間などが入っていますが、この時間は決定しているものではありませんので、これから病院の時間などを考慮して調整していく事になります。

こういった計画で進めていきたいと考えておりますが、来年年が明けてから実証実験を1月から2月で約2か月間の期間で実施したいと考えております。実証実験での運行はエリア分けをしていますので、1つのエリアもしくは2つのエリアで期間を決めて運行して、運行が終わったら別のエリアで実験を行って、全部のエリアを順番に回っていく方法を検討しておりますし、また1つか2つのエリアに絞って2か月間ずっと実験をする方法など実験の方法については検討しているところです。

資料の最後13ページになりますが、予約の方法であるとか利用方法について紹介をしています。デマンドバスを利用したい場合は現在のデマンドバスと同じで予約が必要になります。電話やスマートフォンなどで予約ができますので、乗りたい時間や場所を伝えて予約をしてもらいます。予約の受付窓口が車の手配をして返事をするという事になります。実証実験におきましても有償運送の登録をしていく必要がありますので、それに伴って運賃を決定していかなければなりません。実証実験の間については利用者からは料金は頂きませんが、料金設定の必要がありますので、現在のところ金額については200円から300円の間で想定しております。本日はまだ金額を定められておりませんので、後日になりますが書面等で料金について

	<p>はお知らせしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>以上、簡単ですが只今計画しております新たなデマンドバスの運行の計画となります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ただいま説明させていただきました。何か計画案についてご意見・ご質問はございませんか。</p>
事務局	<p>今、料金設定の案を後日というような表現で説明していただきましたが、また再度書面で協議をして頂かなければならないという事になりますので、大変申し訳ございませんが現在のところ200円という設定でご協議頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>説明ありがとうございました。ちょっと確認になりますが、今まで路線バスだったところにフリーで乗れる区間を入れて所謂路線バスとデマンドバスの中間のようなイメージで捉えてよいのでしょうか。</p> <p>あとバスの本数ですが、例えば胡麻エリア線でしたら1日何本くらいを考えておられますか。</p>
事務局	<p>只今ご質問を頂きました点で、まず1点目ですが、今現在も市営バスとデマンドバスが走っております。ただ利用の隙間が多い部分もありますし、逆に重なっている部分もあります。運行の体系としましては同じように市営バスとデマンドバスという運行体系になりますが、エリア分けをすることによって少しデマンドバスがきめ細かく集落の中まで入っていったらという事で、今行けていない所を出来るだけ回れるように隙間を埋めていくことで考えております。</p> <p>2点目の本数についてですが、これもワークショップで協議されましたが、病院の利用に合わせて運行して欲しいという声が非常に多かったです。例えば明治国際医療大学病院に8時半に着くのが良い、10時半に着くのが良いという意見もありました。エリアによって異なってくるとは思いますが、1時間半・2時間など間を空けて運行するというイメージを持っておりますので、例えば午前中に2便・午後3便、エリアによって変わってくるかもしれませんが、2時間ほど間を空けての運行を考えています。</p>
委員	<p>ワークショップを開催されたということですが、これにどのくらいの方々が参加しておられたのでしょうか。アンケート調査には全所帯2,104所帯に対して回答数が134ということで1割にも満たないという回答の中で実証実験をして本当に日吉町のためになるのでしょうか。もう少し掘り下げて分析する必要があるのでは。もう2か月余りで実証実験をしてスタートさせたいというように思いますが、もう少し色々な形で掘り下げるのが良いと思いますがいかがでしょうか。</p>

<p>会長</p>	<p>知っている範囲でお答えさせていただきますが、アンケート調査の回収率というのはあるようになって実際の所1割に満たないというのが多いのが実態です。それと今おっしゃって頂いたように地域にどういう形で意見を反映させていくかについては、今後は特に高齢者・障害者の事情をよく知っておられる民生児童委員さんにお世話になるなど、多様な範囲で意見を聞くという計画をしております。</p> <p>なかなか利用していない人に意見を聞くのは難しいですし、まして全く関心が無いという人もおられます。色々な形で進められていますが、もう少し、各地域から公共交通に関心のある人の意見は出来るだけ頂戴するという方向で進めて頂いています。</p>
<p>委員</p>	<p>やはり密度の濃いダイヤを組んだら地域の足の確保になって良いと私は思っています。ただあまり急いで実施したときのことを懸念しています。十分な調査や分析を経ての決断になるようにして頂きたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>貴重なご意見をいただきましたので更に皆さんの意見を聞く方法を考えるようにしていきます。</p> <p>ワークショップの関係ですが、11月6日に日吉支所で実施させて頂いております。参加者の人数は、30名強の方に来ていただきまして、ここにありますように5つのブロックに分けて説明をさせていただきました。以上でございます。</p>
<p>委員</p>	<p>私が思うのは実証実験ですので1月から2月に実証実験をした結果というのを十分に振り返りながら分析しながら、実際に運行させていく。運行してもそれで終わるのではなく、1年経った結果利用者はどれだけ増えたのか、どんな声が聞かれたかということも知る必要があると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ワークショップにも参加させていただいております、社協も地元の住民の皆さんから公共交通というか足の確保という事について大きな課題として声を頂いております。こうした取組みについては先ほどもありましたように私は賛成する訳ですが、公共施策・行政施策としてやられていく方針をもっておられるという事ですが、例えば費用対効果やオンデマンドは財政負担が大きいですし、そういった事も総合的に判断する必要があると思っています。その辺りを実証実験で明らかにしていけるのかどうか、あるいは実証実験を踏まえて実施や取り止めも視野にしておられるのか。となるとこの会議で何を唱えているのかということで整理しておきたいと思ひまして、来年度こうしたオンデマンドタイプの交通網を整理していくという方針も含めてここで決を採っていかうとしておられるのか、それに向けてまず実証実験をしたいと、それでまた検討したいという事でここで諮<sup>はか</sup>られているのか、その辺りが不明確で判断しかねるのでお聞かせください。</p>

	<p>あと日吉エリアにおいて実証実験等をされるということで取り組まれておりますが、これもご挨拶でありましたように過疎地域の足の確保という観点からすると美山エリアが大きな課題を抱えていると思っておりますが、美山エリアも視野に入れて取り組まれているのかお聞かせ願いたいと思います。</p>
会長	<p>行政の方針については副市長はおられますが事務局の方から答えてもらうようにしたいと思います。今日決めて頂くのは実証実験をするために陸運支局の許可が必要ということで先ほども料金の話がありましたけども、200円の料金設定でこの実験をさせてほしい、今日皆さんの決議をいただいたら陸運支局の方に許可を貰うということになりまして、次年度からする・しないという事について今日決議を頂くということではありませんので、その点についてのみご説明させていただきました。</p> <p>事務局の方から行政の方針について説明を求めます。</p>
事務局	<p>南丹市の方針ということになります。前回の会議では事業を進めていくという程度のお知らせでしたが、以降、地域の皆様の声をお聞きしながら検討を進めてまいりました。本日についてはこの計画でもって進めていく事、陸運支局に登録も必要ですのでこれでご承認を頂きたいというのが主旨ということで会長さんからも話があったかと思っておりますけども、市の方につきましてもこの計画で実証実験を行うことによって次年度以降に本格的に運行していけるように実施していきたいと考えております。</p> <p>美山エリアについての想定についてですが、現在の所はまだ検討している段階ではございません。しかし、この日吉町地域でモデル的に事業を進めましてその結果を分析し、他の地域でも実施できるということであればまた広げていくという事も考えられます。ただ現在のところ美山も想定しているということではございません。以上です。</p>
会長	<p>只今事務局の方から説明させていただきましたけども、丁度このシステムは富士通のシステムを使っているのですが、これが富士通の説明では日吉と美山エリアはこのシステムでカバーできるという説明は頂いておりますので、今事務局が言うように公共交通の一つのモデル事業として、改善は必要だと思いますが過疎地域の交通体系を作っていく上では重要な事だと考えております。今後も皆さんと今後の方向性も併せてご協議いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>冒頭にも言わせていただきましたようにこの会議は許認可等が目的となるだけの会議にとどまらず、日々の皆さんの利便性を高めるようなご協議を頂ければと考えております。</p>

	他にございませんでしょうか。
委員	<p>今月の来週 27 日に丁度道路運送法が改正される予定でございまして、自家用有償運送の制度が更に拡充される予定でございます。11 月 27 日の改正法により今までであれば本来地域で使われる用途しか有償運送は認めなかったわけですが、そこに観光客も運んでよいという要素が追加されますことと、ボランティアや団体のみでやっている形に対して青ナンバー事業者が協力する、要するに運行管理や整備管理はプロに任せるといった形を取っていただいた場合登録期間が長くなるという形で、地域の足を支えるための制度改正というのが来週予定されております。今回はボランティアの皆様で実施されるという事でございますので、それも短期間ではございますけれども利用者からお金を取るわけではございませんが、有償性がありましたので登録するための協議を今回して頂いたという訳でございます。</p> <p>法律は更に変わっていつていますので、それぞれ地域に見合った形で交通体系を作っていくご検討を皆様と議論しながら進めていければと思っておりますので、是非よろしくお願ひしたいと思っております。</p>
委員	<p>先ほど言われた費用対効果という話で、これは凄いな大事だと思います。2 か月間の実証実験をされた中でどういう成果が上がってくるかというのも非常に大事だと思うんですけども、導入ありきではなくて実証実験を経た中で議論していく機会が必要かと思ひます。費用対効果という話の中でこのシステムを導入しようと思ひたらどれくらいの財政的な負担となりますか。</p>
会長	<p>費用にかかることにつきましてもこの事業の中で富士通の方が試算することになっておりまして、当初契約でいうともう既に計算されているのですが1 か月程度遅れております。それによってこのオンデマンド事業がどれくらいの規模になるか、今は無人で走らせているバスの代金などが出される予定です。実証実験は市民の方たちにアイデアを貰いながら利便性を高めるためにするのでそこで費用を求めものではありません。</p>
委員	<p>実際に利用される方のターゲットとしては独居の高齢の方であったりとかご夫婦でお住まいの高齢の方々が主だと思います。その想定されるターゲットの方々に周知するのが非常に大事だと思いますし、ワークショップはされていますが実際のターゲットの方々はワークショップに来ること自体が難しいのではと思ひますので、ターゲットの方々に対する周知と高齢の方々のご意見もしっかり聞いていくのが大事だと思います。ワークショップ自体は非常に良いですけども、主に利用される方はワークショップ自体に来られないと思ひますのでそこは何か配慮が必要かと思ひます。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。実際ワークショップには最高齢で90歳の方が送迎してもらって来ていただいていますので、地域の若い世代の人が実際に使っておられる人たちを連れてきてワークショップを開くという形をとっているので実際の利用者との繋がりがあります。またワークショップの中で40代くらいの人からこれが実施されたら免許証を返納するという声も聞かれました。車の管理が大変だからということでした。是非とも皆さんのご理解を頂いてこの事業を進めていきたいと考えております。</p> <p>幸いにもこの事業を組み立てて頂いていますひよし農の郷づくり協議会交通部会の部会長が出席していただいておりますので、少し状況をご紹介いただけたらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>モデル事業ですので何が何でも成功させたいなという思いです。この成功のポイントは今おっしゃられましたように周知徹底してしっかりとニーズを掴んで利用者に好評を頂けるような利便性も含めた事業にできたらと思います。</p> <p>ただ私が心配なのはこれから周知を徹底するためにも各区の区長さんにもワークショップに加わっていただいて、区長さんから区民の皆様方に事業のことを伝えて頂いてご意見を賜ることが必要かと思えます。それとこの事業はハードが出来てもソフトが充実していないと利用される方から不満が出てくる可能性がありますので、会長にも再三言っておりますけども、時間をとって出来るだけ家に近いドア to ドアという体系でやる上は病院のドアに近い利便性を伴う交通体系に出来たらと思っております。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。他にございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>私先ほど行政の施策としてといったような確認とかこの場でどういう決を採られるのかという確認をさせていただいたんですけども、やり取りを聞いていますと会長さんが二面性を持っておられて農の郷づくり協議会の方でも活発に活動されていてワークショップでも知ったのですが、ここは市役所という行政・公共の会議ですので受け答えが行政の事務局の方からあまりないという事に違和感を感じているのですが私だけでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>もう少し行政の方からお答えいただきたいのと、せっかく副市長が出席していただいているので事務的な事は事務局から説明を求めて行政的な指針などは理事者の方から答弁を頂く方が良いと思いますので。将来的なことについては副市長の方からお答えいただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>それと私もワークショップに参加させて頂いたりとか色々協力できることはしていきたいと思っているのですが、その実証実験の事業主体は市役所になるのですし</p>

	<p>ようか。</p>
事務局	<p>今年度の実証実験につきましては農の郷づくり協議会さんが市役所経由で国の補助金を頂いて運用されています。ですので今年度の実証実験やワークショップなどは市と共同でやっているという形になっています。その辺りどちらかがイニシアティブを取って話をしなければならぬ所もありますが、共同でやっていると。先ほどの二面性と言ってはいけぬかもしれませんが2つの立場もあるのでお答えして頂いているということです。</p> <p>先ほど係長の方からも報告しましたが、今年度この実証実験をこの後するのですが、これまでのワークショップであるとか積み上げや今後の状況も踏まえて次年度にやっていく方向ではあるのですが、当然実証実験の中身を検証した中で修正しないといけぬ所が発生すれば修正しないといけぬと思っております。ただ次年度に実施していくという形になれば様々な手続も必要ですし、当然広報もしないといくら走らせても人が乗らない事になりますのでその辺りも積み上げていって、理想としては4月から実施したいですが一定の期間が空くかもしれませんし、これも実証実験の中でという事になるかと思えます。次年度につきましては市の方が主体となりますが、当然市だけでは出来ないので連携させて頂いて進めていきたいと考えております。以上です。</p>
副市長	<p>この公共交通会議で皆さんにこうしてご協力頂いて、これがどういう形で導入されてきたものかという事までご理解を頂いた上で協議を進めて頂くのが一番だと思っておりますので、先ほど申しましたが事務局からありましたように農の郷づくりの方が事業主体になってはおりますが市を通して国に申請をします。そういう形でないといこの手の事業に国からのお金が付かないと。そういう事情もご理解を賜ればありがたいと思っております。</p> <p>南丹市としてはこれから高齢化社会に向かっていく、あるいは少子と言われておりますけども子供たちの学校への通学の確保であるとか。そういう所も先の10年、20年後にこの南丹市を訪れるであろう状況を考えるとここで色んな試みをしておかないとこれから大変なことになるなど。暗い話になりますがあと7、8年すれば南丹市民が2万人台になるという事も統計的には言われております。そんな時に南丹市民の足の確保というのが重要になる。そのための試みとして大切なことだと思っておりますので、十分に皆さんにご協力を頂きたいと思っておりますし、日吉をモデルでやらせてもらいますけども美山というお話もありましたが、実は八木や園部でも展開としてこれから交通手段をどうしようという事もございますので、そういう事も今オンデマンドなどにお世話になってはいますが今後のあり方についても地域ご</p>

	<p>との事情に応じて考えていく、その一つの基になればと考えております。南丹市としてはそういう方向性を考えていったらどうかと思っております。実態的には担当部署でまだそこまでは計画を立てておりませんし、今後の大きな進み方の方向性を探っているという風にご理解いただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今、市としての方向性も示していただいたと思いますので、それも含めて何かご意見はありますでしょうか。</p> <p>特に無いようでしたら協議内容について評決をお願いしたいと思います。お諮りいたします。</p> <p>「日吉町地域の交通体系の見直しについて」は協議案のとおり合意することにご異議はございませんか。</p>
	<p>(異議なしの声)</p>
会長	<p>ありがとうございます。異議なしと認めます。</p> <p>よって、「日吉町地域の交通体系の見直しについて」は合意されました。ありがとうございました。</p> <p>この事業につきましてはひよし農の郷づくり協議会が主体的に事業を進め、南丹市も連携して進めていく事業であり皆様にご承知おき下さる事とあわせご意見を頂戴して今後の計画を反映させていきたいと考えております。</p> <p>続いてその他の項で何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p>2点ほどご報告をさせていただきます。まず1つ目が市内のJR園部駅以北の各駅でございます、具体的には船岡駅・日吉駅・鍼灸大学前駅・胡麻駅の4駅に来年3月からICOCAが導入される事になりました。近い物は設置されているのですが、利用開始につきましてはJRさんに聞いたところ3月ということでした。例年3月半ばにダイヤ改正をされておりますので、恐らく3月中旬ごろになろうかと思っておりますのでご報告させていただきます。</p> <p>それからもう1点ですが、前回の南丹市地域公共交通会議で協議・報告された内容につきまして日吉地域にお住まいの方々に関連することが多かったことから、8月中旬に日吉地域に文書配布という形でご報告させて頂きましたことをこの場でご報告させていただきます。その際に報告事項にありました日吉町地域の交通体系の見直しについての内容が協議事項であるような形になっておりまして、こちらは事務局のミスでしたがこの場をお借りしまして委員の皆様方にお詫びと訂正をさせていただきます。</p> <p>以上2点、事務局からご報告いたします。</p>
会長	<p>はい、それでは皆さんの方から何かございますか。</p>

	<p>特にないようでしたら本日の会議はこれで終わりたいと思います。ご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは事務局に進行をお返しします。</p>
司会	<p>松尾会長、円滑な議事進行ありがとうございました。</p> <p>それでは閉会にあたりまして下田副会長からご挨拶を頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>週末の大変出にくいなか南丹市の地域公共交通会議にご出席いただきましてありがとうございました。議案にあります京丹波町営バスの乗降制限、2つ目の日吉町地域の交通体系の見直しについても承認いただきました。</p> <p>今後この会議につきましても地域の皆さんと協議し交通体系を考えていかなければならないと思いますし、先ほどから言っておられますように過疎化の中で市民の足の確保がなかなか難しい状況になっておりますけども、それぞれの地域の実情に合った交通体系にしますことを申し上げまして閉会とさせていただきます。大変ご苦労様でした。</p>
司会	<p>ありがとうございました。それでは以上をもちまして南丹市地域公共交通会議を閉会いたします。長時間ご協力ありがとうございました。</p>
	<p>(閉会)</p>